

# 2016年3月期 決算説明資料

2016年5月11日

田淵電機株式会社(証券コード:6624)

Global Power-Solution Company

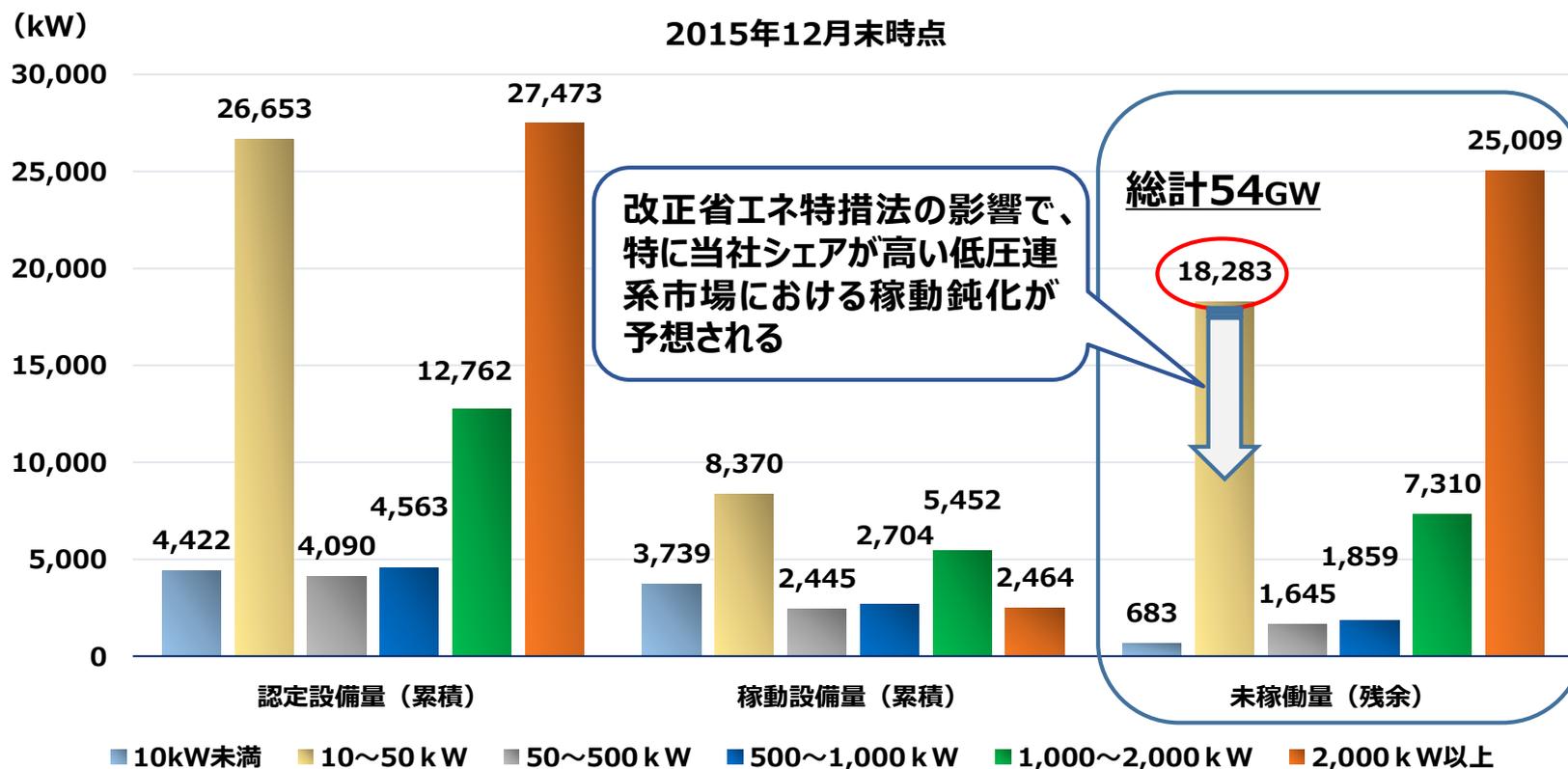


# 2016年3月期 業績の概要

- 対前年度26.6%の減収、営業利益は55.6%の減益。
- （電源機器事業）国内太陽光発電市場縮小により主力事業であるパワーコンディショナの販売が不調、北米市場展開も遅れ、減収減益となり、全体の減収減益の主要因となった。
- （変成器事業）変成器事業は、M&Aによる販売チャネルと製品ラインアップの拡充を図る一方で、開発費等の経費が増加し、減益となった。
- 期末配当金は期初予想通り1株8円（年間16円）を予定。

- 2015年度として全体では9GWの設置
- 市場を牽引していた低圧連系（10～50kW）市場は停滞
- メガソーラーなど大規模案件は残余の設置が着実に進行

全量買取制度（FIT）認定・稼働状況  
2015年12月末時点



\*経産省発表資料より

単位：百万円

	2015年 3月期	2016年3月期		対前年度 増減	対前年度 増減率
		1月広報値	実績		
売上高	53,299	42,000	39,103	▲14,196	▲26.6%
営業利益	11,061	5,500	4,916	▲6,145	▲55.6%
経常利益	11,506	5,500	4,704	▲6,801	▲59.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	7,695	3,700	3,181	▲4,514	▲58.7%

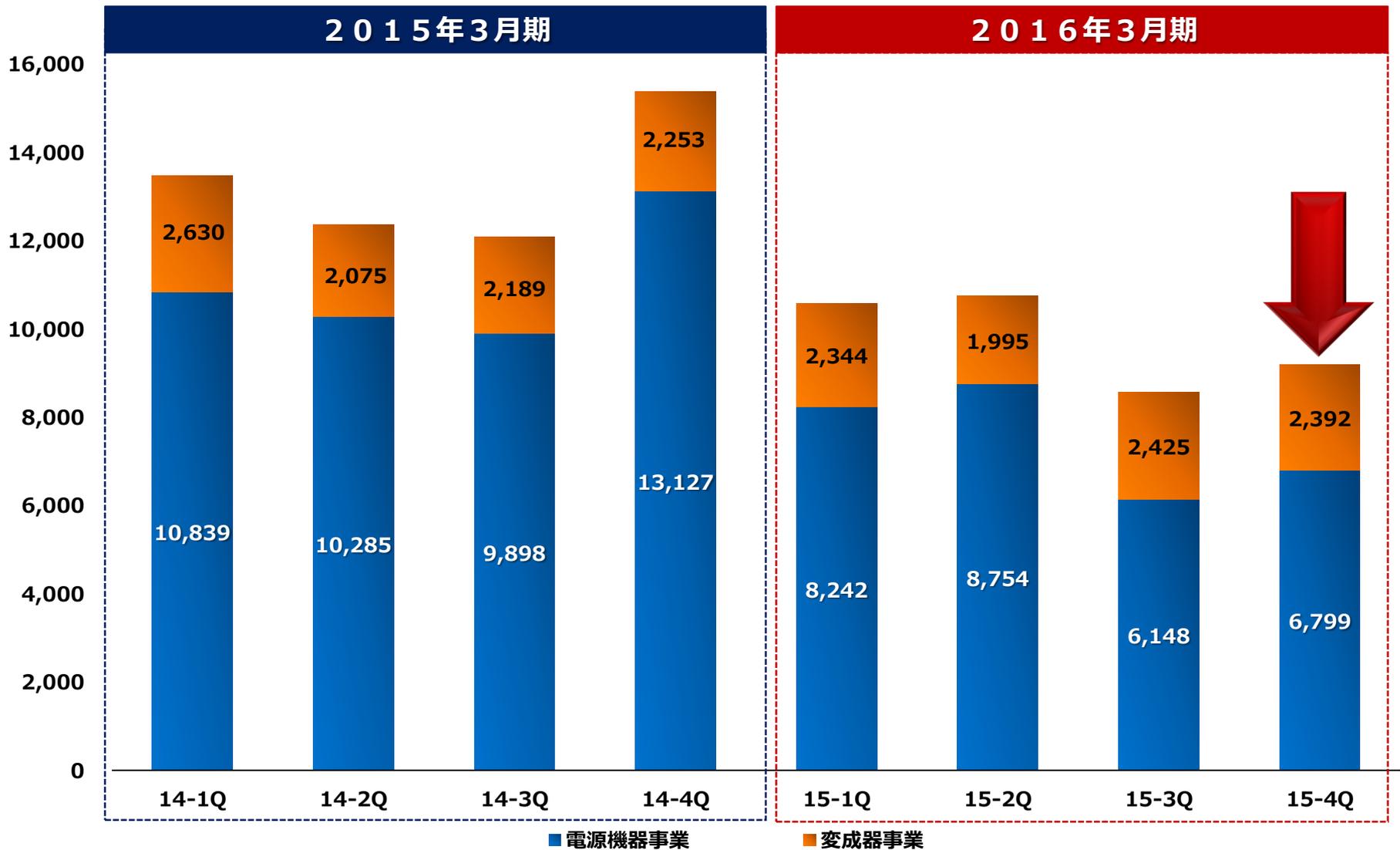
# 連結セグメント別業績概要

単位：百万円

	2015年3月期		2016年3月期		前年度比増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
電源機器	44,150	10,334	29,945	5,029	▲14,205	▲5,304
変成器	9,148	928	9,158	680	+9	▲247
調整額	-	▲200	-	▲793	-	▲592
連結計	53,299	11,061	39,103	4,916	▲14,196	▲6,145

# 連結セグメント別売上高四半期推移

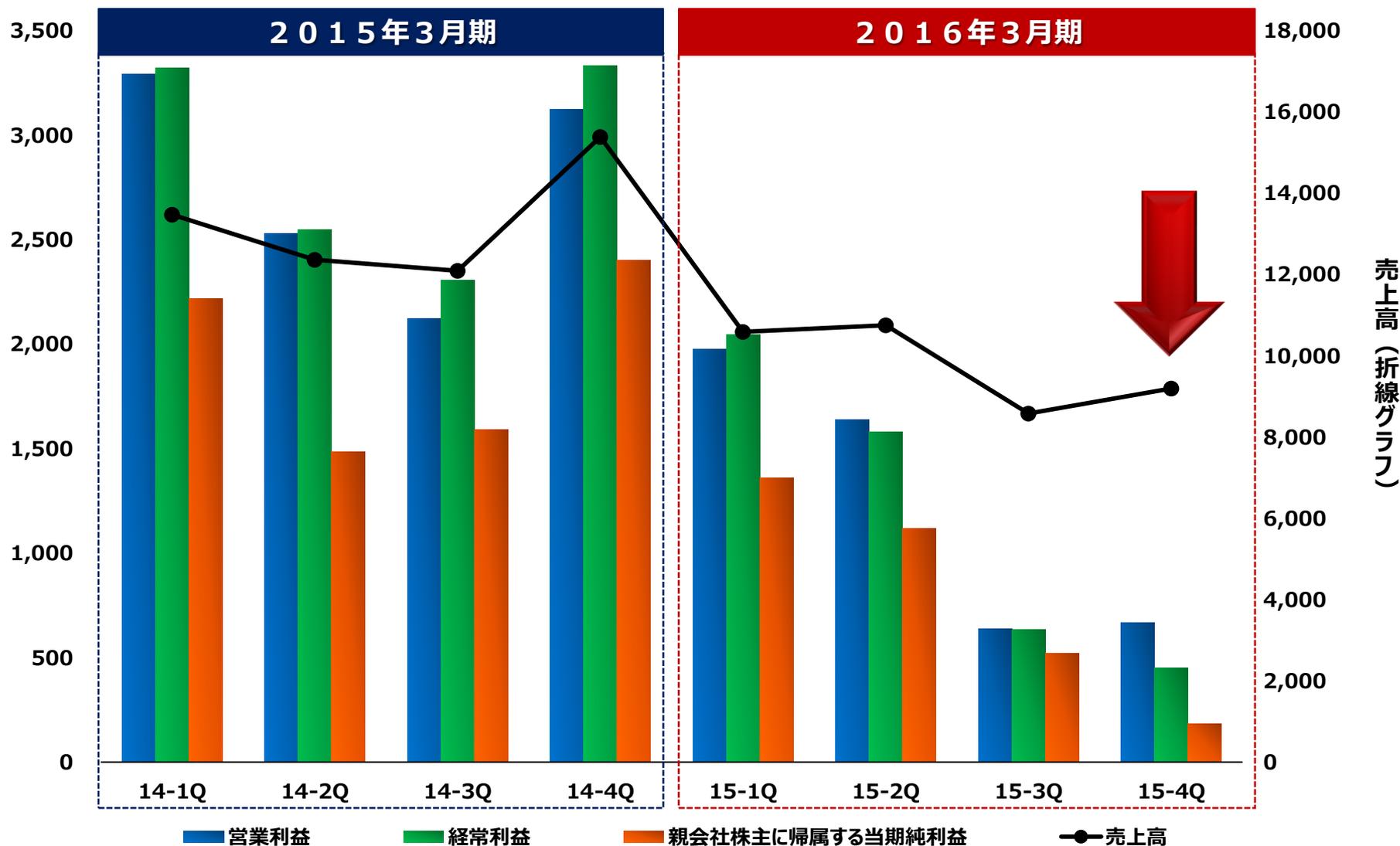
単位：百万円



# 連結業績四半期推移

単位：百万円

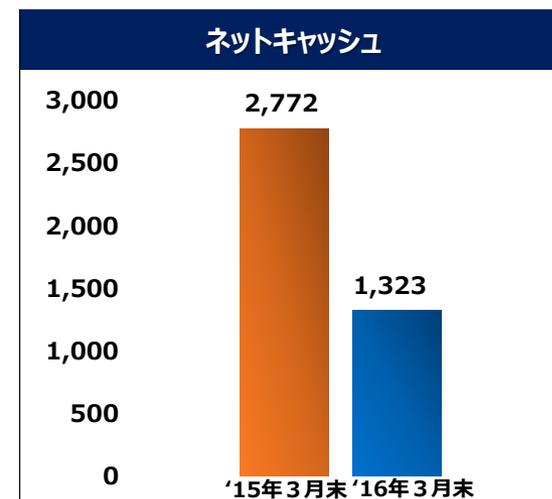
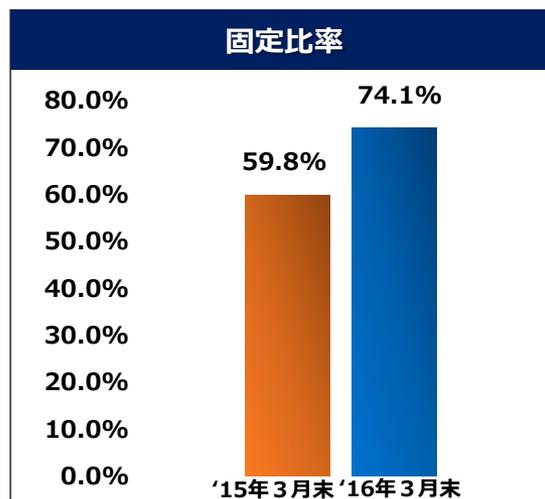
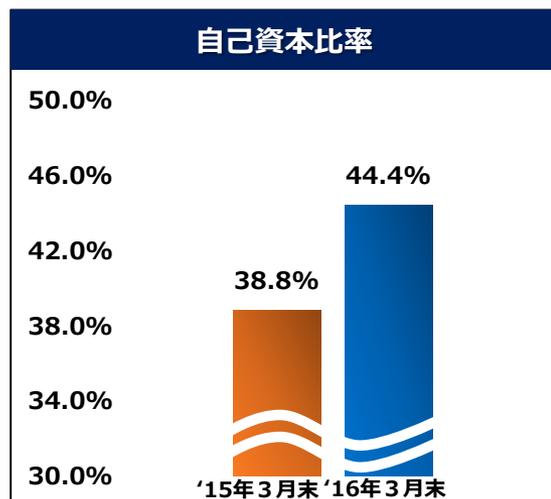
営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益（棒グラフ）



# 連結貸借対照表概要

単位：百万円

	'15年3月末	'16年3月末		'15年3月末	'16年3月末
現預金	6,868	5,737	仕入債務	8,085	7,425
売上債権	15,408	6,882	短期有利子負債	2,090	2,938
棚卸資産	5,229	9,659	その他（流動）	7,594	4,010
その他（流動）	1,527	2,408	長期有利子負債	2,006	1,475
固定資産合計	8,765	12,133	その他（固定）	3,365	4,610
繰延資産	2	1	純資産	14,661	16,363
資産計	37,802	36,823	負債・純資産計	37,802	36,823



# 連結キャッシュ・フロー計算書概要

単位：百万円

	2015年 3月期	2016年 3月期	増減
営業活動によるCF	8,726	3,771	▲4,954
投資活動によるCF	▲2,566	▲3,683	▲1,117
フリー・キャッシュ・フロー	6,160	87	▲6,072
財務活動によるCF	▲1,815	▲1,061	+754
現預金に係る換算差額	227	▲157	▲385
現預金増減額	4,572	▲1,130	-
現預金期首残高	2,296	6,868	-
現預金期末残高	6,868	5,737	▲1,130

# 2017年3月期 見通し

- **国内太陽光発電市場は、固定価格買取制度の減額等による縮小継続を予想。一方で、500kWを超える大規模発電所に関して、申請済み未着工案件の建設が進んでおり、2017年3月期においても2016年3月期と同等以上の着工が見込まれるものと予想。  
競争環境は、国内・海外を問わず競合が参入し、引続き激化が予想される。そのような中、原価低減や、メガソーラー向け分散型パワーコンディショナのラインアップ拡充、長期保証の充実等で競争優位性を高めていく。**
- **世界市場、特に北米における再生可能エネルギー活用や蓄電池を用いたエネルギーマネジメントへの需要は継続的に拡大が進む見通し。2016年3月期に投入した蓄電ハイブリッドシステムと、大規模太陽光発電所向けの分散型パワーコンディショナ等の拡販を引続き総力を挙げて展開する。**

## 国際化

- 北米を中心とし、中南米、アジアへと世界展開の加速

## 大容量化

- メガソーラー等の大規模発電や産業用を狙ったラインアップの拡充

## ソリューションビジネス化

- 蓄電池・ICTを駆使した多種多様なエネルギーマネジメントの提供

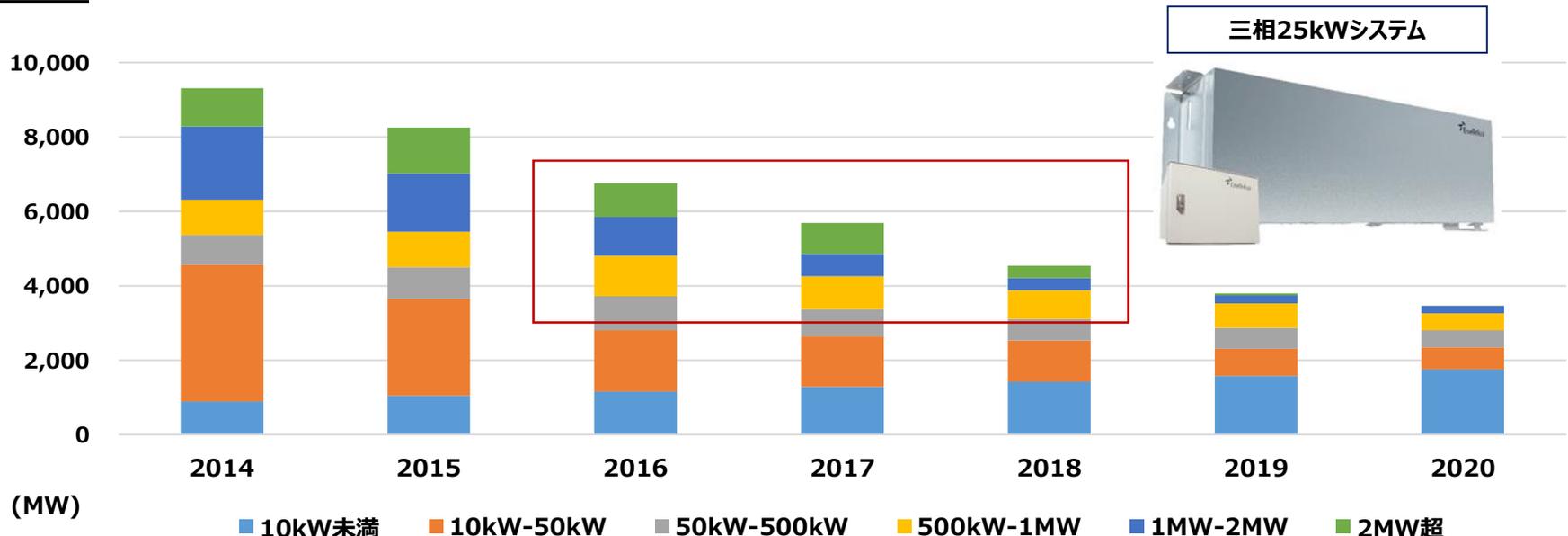
# 国内太陽光発電市場における今後の対策

～グローバル仕様を国内市場へ展開～

全体として太陽光発電市場が縮小するものの、500kW以上の大型案件は工期が長く、今後2-3年程度かけて、高採算の残余案件が着実に消化されていくと予想。

加えて、従来の1台のパワコンで発電するセントラル型ではなく、当社が得意とする分散型パワコンの採用が増加しており、①ラインアップ拡充、②長期保証の充実、③O&M事業推進により、確実な案件取り込みを図る。

また、今後も堅調な成長が予想される住宅市場に向けた蓄電ハイブリッドシステムの拡販を図る。



(出所：(株)資源総合システム)

## ITC延長

2015年12月米連邦議会で可決された「Investment Tax Credit」の延長により、従来の想定よりも力強い市場の成長が予想される。全米太陽光発電協会の予想では2020年までに累計導入量100GW、米国の全発電量の3.5%をカバーするとされる。

## 蓄電池需要

米国では電力の自由化が進み、また電力需給が不安定な状況において、デマンドチャージといわれるピーク時の追加電気料金体系が導入されており、特に産業用途においては、州により電力料金の30%-70%がデマンドチャージに該当するともいわれる。住宅用にも導入が進むとされ（一部導入済）、蓄電池とITを駆使したピークカット／シフトの需要が大きい。



**産業用や発電所向けの三相パワコン、住宅用・産業用ハイブリッドシステムのラインアップを揃え、今後の主力事業として注力していく。**

## 2016年3月期 M&A案件

(独) マルシュナー田淵



欧州販売チャネル

(日) テクノ電気工業



水冷式トランス  
大型電磁石  
産業機器顧客基盤

徹底したシナジーの創出で、MBP20重点分野「産業機器」  
「ヘルスケア・医療機器」「輸送機器」の事業拡大を目指す。

# <予想> 連結業績

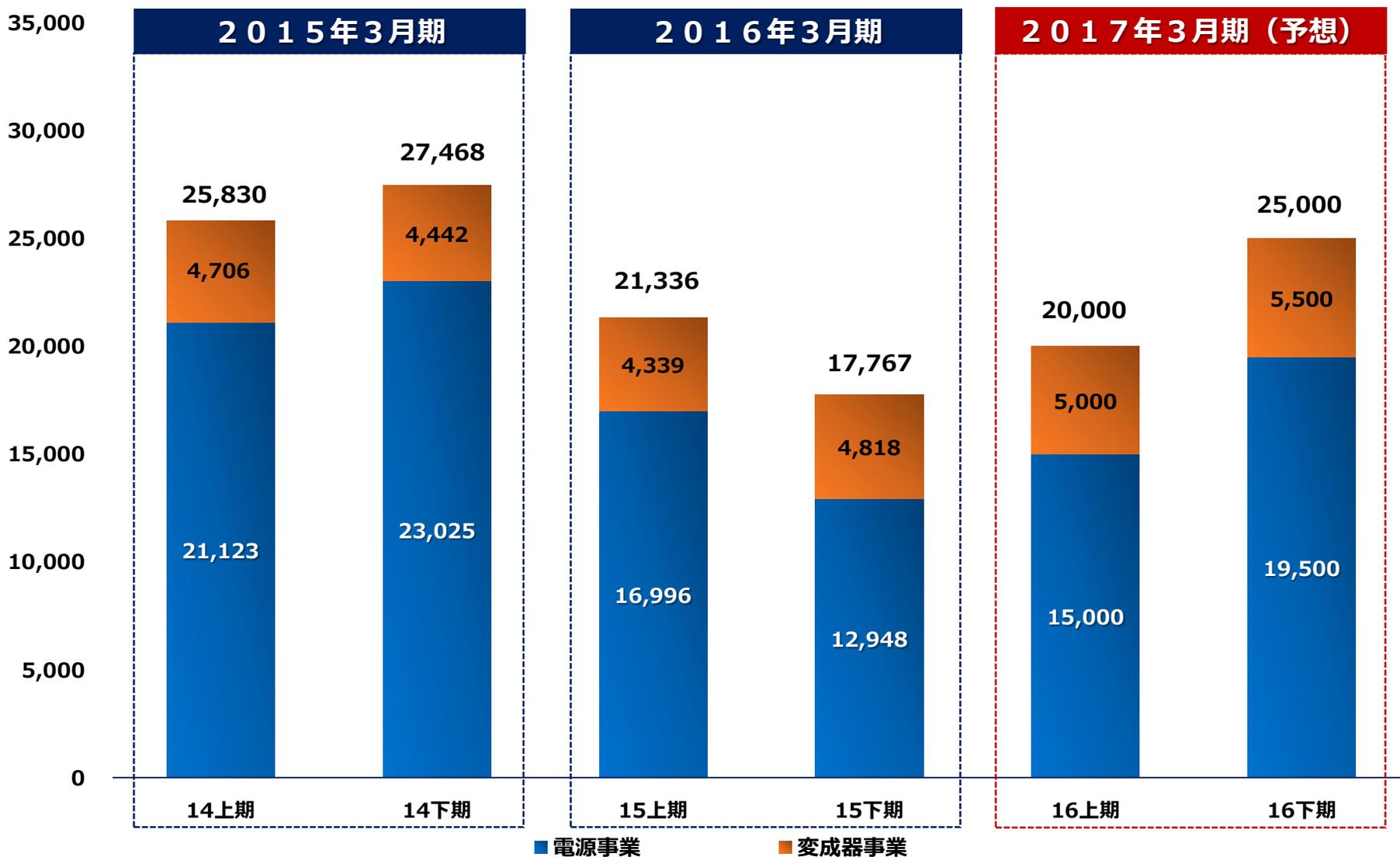
単位：百万円

	2016年	2017年3月期		
	3月期	上期	下期	通期
売上高	39,103	20,000	25,000	45,000
営業利益	4,916	1,000	3,000	4,000
営業利益率	12.6%	5.0%	12.0%	8.9%
経常利益	4,704	900	2,900	3,800
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,181	600	1,900	2,500
配当	年間計 16円	中間 8円	期末 8円	年間計 16円

注) 予想の前提となる為替レートは1ドル110円です。

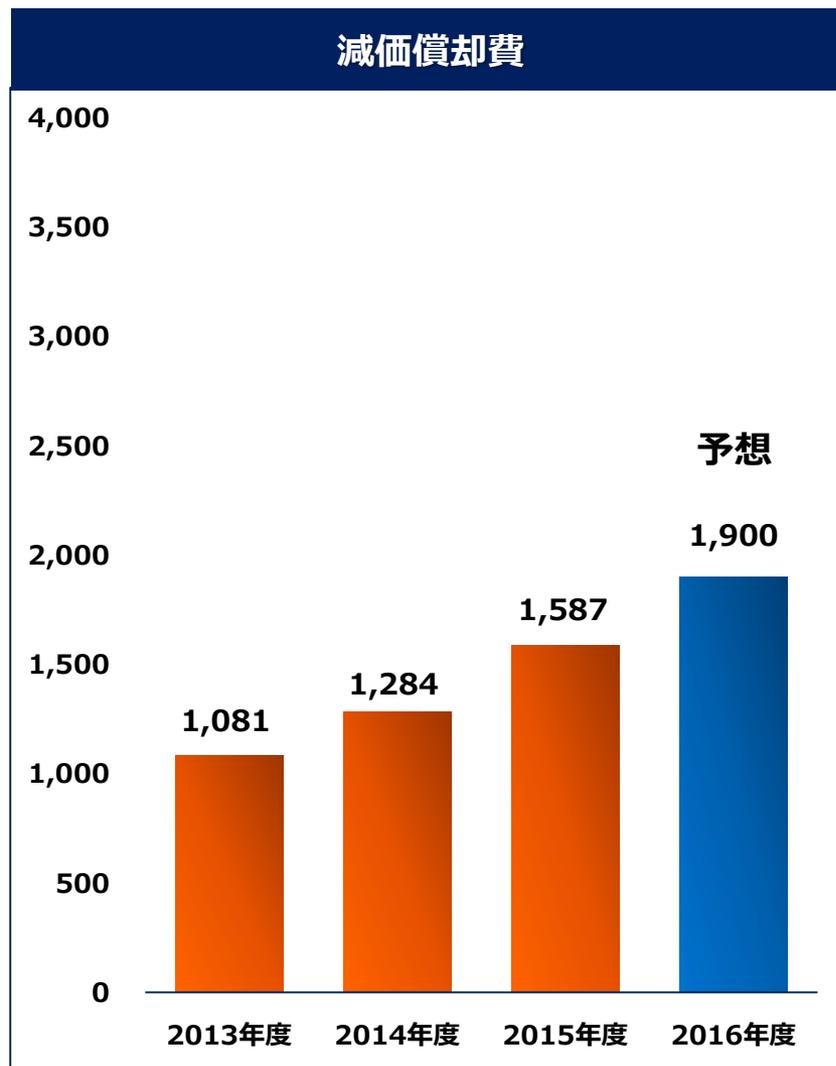
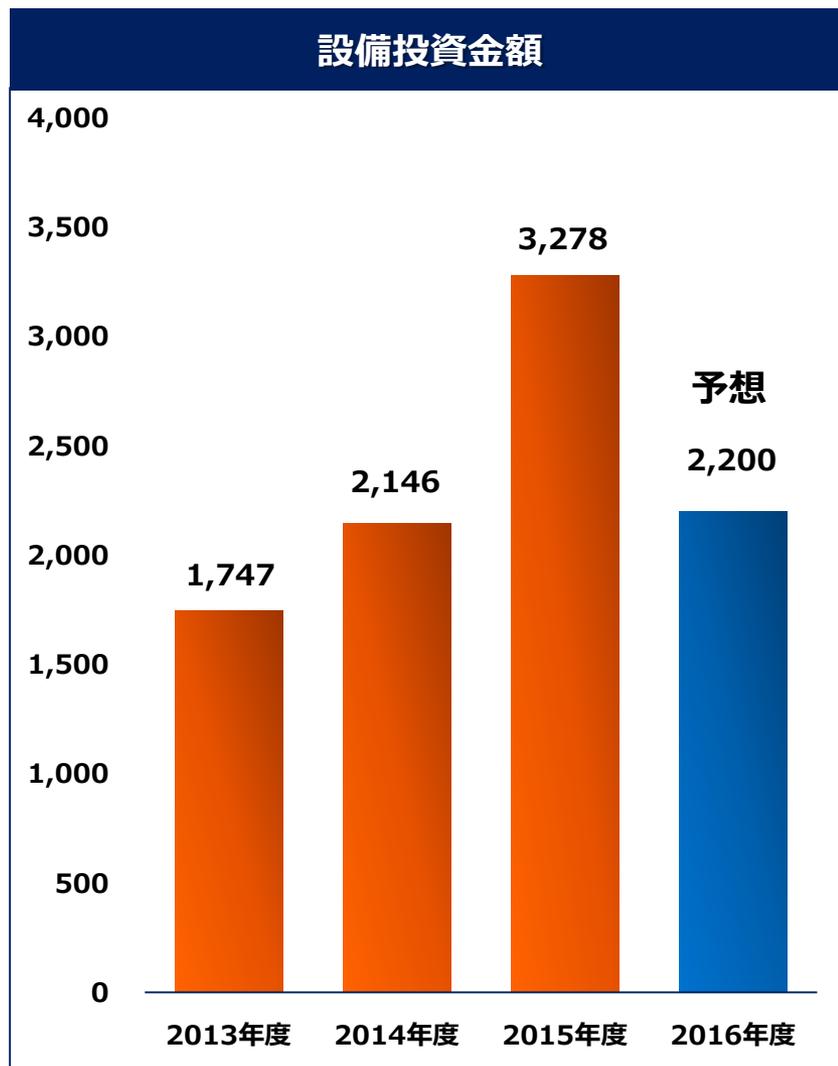
# <予想> 連結セグメント別売上高推移

単位：百万円



# <予想> 連結設備投資金額・減価償却費

単位：百万円



# TABUCHI ELECTRIC

**当資料に記載されている、当社又はグループに関する見通し、方針、戦略等は、現時点での入手可能な情報に基づき、合理的と判断した前提のもと予測したものです。実際の業績は今後起こりうる様々な要因によって異なることがあるということをご理解ください。**